Recherche 00004 エコールドレス仕様書

布帛用
パターンパーツ数3
後あき(コンシールファスナー)有り
左右シームポケット有り
前後身頃ダーツ有り
スレキ・コンシールファスナー・伸び止めテープ使用

サイズ	70	80	90	100	110	120	130
着丈※CB	38	41.5	46	53.5	58.5	61.5	68.5
バスト	53.5	56.5	59.5	61.5	63.5	67.5	71.5
ウエスト	49.5	52.5	54.5	57.5	59.5	61.5	63.5
蹴まわし	64	68	70.5	75.4	78	82	87.6
後あき	23	25	27	30	32	34	37

■ 裁断前に必ず地直しを行ってください。
■ コンシールファスナーは後あき寸より3㎝以上長いものを用意してください。
■ わかりやすくする為、画像のサンプルは寸法や糸の色を変えてあります。全体のバランス等、実際のものと異なりますのでご注意ください。

オリジナルパターン・仕様書の著作権・販売権はRechercheが所有しています。
いかなる理由であっても、オリジナルパターン・仕様書の無断転用・複写・流用及び転売はご遠慮ください。

裁断

地の目線を確認し、生地の方向に注意しながら裁断します。

① 前身頃×1
② 後身頃×2
③ ポケット袋布・表地×2
④ ポケット袋布・スレキ×2

ノッチ(合印)を入れます。
ダーツ位置にはチャコペン等で印を付けます。

伸び止めテープを貼ります

① 前 SL に 5 ㎜巾の伸び止めテープを貼ります。※出来上がり線が伸び止めテープの中央を通るように
② ポケット口の縫い代部分に 10～15 ㎜巾の伸び止めテープを貼ります。※ポケット口より両端各 1.5 ㎝長く貼り、ポケット口にチャコペン等で印を入れます。

ロックをかけます

3 ㎜切り落としながら 5 ㎜巾ロックを「前後の SL」「前後身頃の脇、」「CB」「ポケット袋布×4 の外周」 にかけます。

ひし形ダーツを縫います

① ダーツ中央の 1 針分向こうから返し縫いをせずに縫い始め、ダーツ終わりまで縫います。

※ダーツ終わりは端に沿うように縫い消し、返し縫いをせずに玉留めします。

Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.

② ①の縫い始めの位置に針を落とします。①の縫い目に重なるように2針返し縫いをし、ダーツ終わりまで縫います。

※ダーツ終わりは端に沿うように縫い消し、返し縫いをせずに玉留めします。

ダーツ中心をまたいで①と②の縫い目が重なります。
縫い目が重なる部分は直線になるようにします。

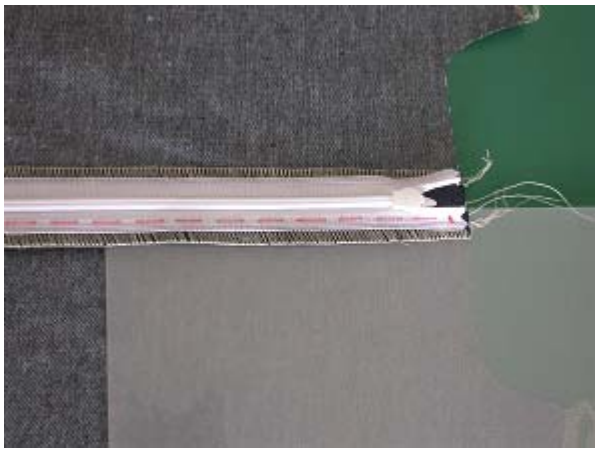
前身頃ダーツをCF側へ、後見頃ダーツをCB側へアイロンで倒します。

ファスナー付け　※あき止りより3cm以上長いファスナーを用意します
左右の後見頃を中表に合わせ「あき止り～裾」を縫い合わせます。
※縫い始めと縫い終わりには返し縫いをします。

縫い目の長さを大きくし、「あき止まり～襟ぐり」に粗ミシン（ミシンじつけ）をかけます。
※　返し縫いはしません。

アイロンで縫い代を割ります。

Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.



縫い代の下にクリアフォルダ等を敷き入れ、ファスナーを縫い代のみにしつけします。

※ しつけはあき止まりの 5 ㎝上までします。

両側にしつけをし、「あき止まり～襟ぐり」にかけた粗ミシンをほどき、スライダーをあき止りより下まで下げます。

あき止り位置にチャコペン等で印を付けます。
押さえをコンシールファスナー押さえにします。
縫い目の長さを元に戻します。

Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.

務歯（ムシ：かみ合う部分）を押さえの溝にはめ込み縫います。

※上止め具の位置から縫い始めます。
※縫い始めは返し縫いをし、務歯を起こしながらできるだけ務歯の際を縫います。

しつけの終わり位置（あき止りより 5 cm 上）まで縫い、針を下げたまま縫い線のバランスを見ます。
しつけ終わり位置～あき止り位置まで縫い進める間に 1.5～2.0 ㎜ほど布端へそれるようにします。
あき止りよりさらに 1～2 針縫い進め、返し縫いをして糸を切ります。

※反対側から見たところ

もう片方も同様に縫います。
縫い終えたらスライダーをあき止りより上に引き上げます。

Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.

「襟ぐりより 7～8 ㎜下～あき止りより 2 ㎝下」 までファスナーの端をそれぞれの後見頃縫い代に縫い付けます。

※ 襟ぐり側は返し縫いなし、あき止り側は返し縫いをします。

ペンチ等を使い、フリー下止め具をあき止りの 5 ㎜上に固定します。

脇の縫いとポケット

前後見頃の脇を縫い合わせます。

前後の見頃を中表に合わせ、「脇～ポケット口合印」「ポケット口合印～裾」 を縫い合わせます。※返し縫いをします。

縫い目の長さを大きくし、「ポケット口」 に粗ミシン（ミシンじつけ）をかけます。※返し縫いはせず、糸を長めに残します。

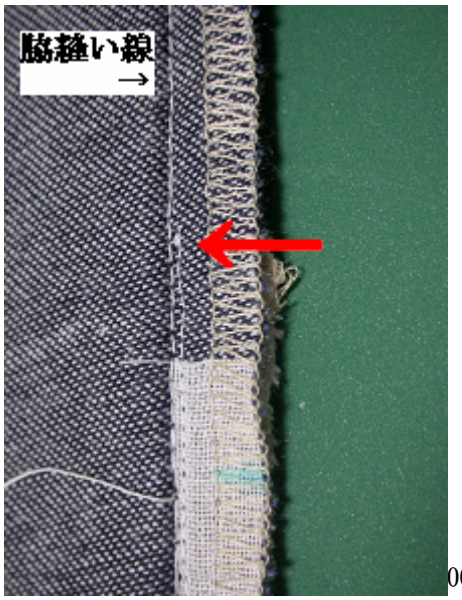
Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.

縫い代をアイロンで割ります。

縫い目の長さを元に戻します。

前身頃の縫い代とスレキを中表に重ねます。

そのまま、見頃が上になるよう上下を返します。

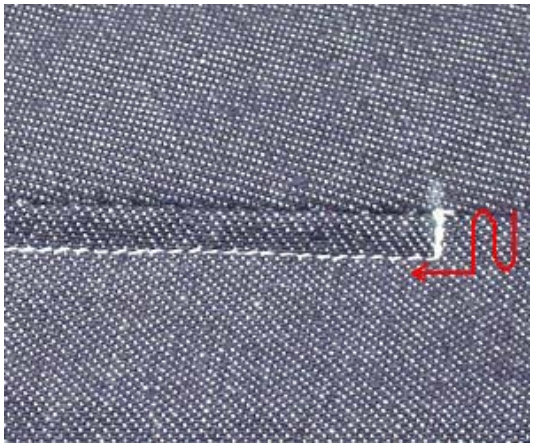


見頃を上にした状態で脇の縫い目の際（縫い代側）を縫います。

※　脇縫い線を踏まないように注意します。
※　スレキの端～端まで縫います。
※　縫い始め・縫い終わりは返し縫いをします。

006 Recherche. All Rights Reserved.

スレキを前身頃側に倒し、アイロンをかけます。



表からポケット口にステッチをかけます。
※　両端は返し縫いをします。

後身頃縫い代とポケット袋布（表地）を中表に重ねます。

そのまま、見頃が上になるよう上下を返します。

Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.

～スレキ側と同様に～

見頃を上にした状態で脇の縫い目の際（縫い代側）を縫います。

※　脇縫い線を踏まないように注意します。
※　袋布の端～端まで縫います。
※　縫い始め・縫い終わりは返し縫いをします。

スレキと表地を重ねます。
スレキ側を上にし、袋布の外周を縫い合わせます。

※裏から見たところ

反対側のポケットも同様に縫います。
粗ミシンの糸を抜き取ります。

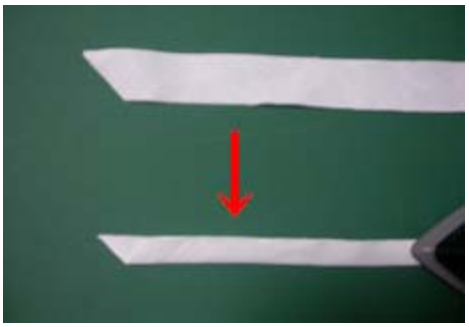
Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.

SL

前後の SL を中表に重ね縫い合わせます。

襟ぐりバイヤス始末

※6 ㎜と細めのバイヤステープ処理をするため、ここでは縫い外しにくい方法で始末します。



バイヤスに 18 ㎜巾で布を裁ちます。
外表になるよう半分にアイロンで折ります。
襟ぐり・袖ぐり分を用意しておきます。

右 CB の表にバイヤステープを重ね、布端より 2 ㎜出来上がり線側に合わせます。

※ ファスナーを縫い込まないよう折り返しておきます。

Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.

CB の出来上がり線で中表に折ります。

襟ぐり出来上がり線を縫います。
縫い終わりの左 CB も右 CB 同様にします。
※縫い始め・縫い終わり共に返し縫いをします。

縫い代のはみ出した部分を切り落とします。

縫い目を切らないよう注意しながら切り込みを入れます。
※カーブは多目に入れます。

Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.

バイヤステープの縫い始めと縫い終わりを表に反します。
ファスナーの端をバイヤステープを折り込んだ時に少し隠れる程度に切り取ります。

バイヤステープを裏側に折り、裏側からコバステッチをかけます。
※縫い始め・縫い終わり共に返し縫いをします。
スプリングホックを縫い付けます。

袖ぐりバイヤス始末

後身頃の表にバイヤステープを重ねます。

バイヤステープの端を折り返し、布端より２㎜出来上がり線側に合わせます。

※ごろつきを防ぐ為、後身頃脇の縫い代より少し後方から縫い始めます。

Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.

縫い始めは返し縫いをせず、出来上がり線を縫い進めます。

袖ぐりを一周縫い、縫い始めのバイヤステープに縫い終わりのバイヤステープを重ね縫います。

※バイヤステープの最後は折り返さず、返し縫いをします。

～襟ぐりと同様に～

縫い代のはみ出した部分を切り落とします。

縫い目を切らないよう注意しながら切り込みを入れます。
※カーブは多目に入れます。

バイヤステープを裏側に折り、裏側からコバステッチをかけます。

裾始末

裾にロックをかけます。
※　作動送り機能がある場合は縮めながらロックをかけます。

出来上がり線をアイロンで折り、1.5 cm位置にステッチをかけます。

Copyright © 2006 Recherche. All Rights Reserved.